

十和田市事務事業評価シート

| | |
|------|-------|
| 担当課名 | 生涯学習課 |
|------|-------|

【事務事業の種類と位置づけ】

| | | | |
|-----------------|-----------------------|-------|------------|
| 市総合計画 実施計画番号 | 50 | 整理番号 | 40 |
| 基本目標 | 豊かな心をはぐくむ「こころ感動・創造都市」 | | |
| 施策の展開方向 | 文化の振興 | | |
| 事務事業名 | 市民文化祭支援、文化団体への補助金交付 | | |
| 事務の種類 | 自治事務 | 根拠法令等 | 十和田市規則第66号 |
| 関連する事務事業 | | | |

【人件費の推移(概算)】

| | | 21年度実績 | 22年度実績 | 23年度計画 |
|-------|---------|--------|--------|--------|
| 正職員 | 従事者数(人) | 1 | 1 | 1 |
| | 活動日数(日) | 8 | 8 | 8 |
| | 人件費(千円) | 288 | 288 | 288 |
| 正職員以外 | 従事者数(人) | | | |
| | 活動日数(日) | | | |
| | 人件費(千円) | | | |

【事業費の推移】

| 事業費合計(千円) | 21年度実績 | 22年度実績 | 23年度計画 |
|-----------|--------|--------|--------|
| | 588 | 588 | 588 |
| うち一般財源 | | | |
| うち国県支出金 | | | |
| うち地方債 | | | |
| うちその他 | | | |

【事務事業の概要】

| | |
|------------------------|--|
| 対象 (誰(何)を対象として行うのか) | 十和田市民 |
| 意図 (対象をどういう状態にしたいか) | 文化芸術活動を支援することにより、市民の豊かで潤いのある暮らしの実現をはかる。 |
| 手段 (どのようなやり方で行うのか) | 文化祭実行委員会と連携し市民文化祭を開催する。また、各種団体に補助金を交付する。 |

【指標】

| | | | | | | |
|--------------------------|-------|-----------|--------|--------|--------|-------|
| 活動指標 (活動の規模) | 活動指標名 | 市民文化祭開催日数 | | | | |
| | 計算式等 | 単位 | 21年度実績 | 22年度実績 | 23年度計画 | |
| | | 日 | 4 | 5 | 4 | |
| | 活動指標名 | 市民文化祭参加者 | | | | |
| | 計算式等 | 単位 | 21年度実績 | 22年度実績 | 23年度計画 | |
| | | 人 | 1,620 | 1,096 | 1,500 | |
| 成果指標 (意図をどの程度達成しているか) | 成果指標名 | 市民文化祭参観者 | | | | |
| | 計算式等 | 単位 | 21年度 | 22年度 | 23年度 | |
| | | 人 | 目標値 | 3,500 | 4,000 | 4,500 |
| | | | 実績値 | 3,268 | 4,502 | |
| | | | 達成度(%) | 93% | 113% | |
| | 成果指標名 | | | | | |
| | 計算式等 | 単位 | 21年度 | 22年度 | 23年度 | |
| | | | 目標値 | | | |
| | | 実績値 | | | | |
| | | 達成度(%) | | | | |

十和田市事務事業評価シート

| | |
|------|----|
| 整理No | 40 |
| 計画No | 50 |

【担当課による検証】

| ポイント | | 検証 | 評価 | 点数 | 合計 | 検証の理由 |
|--------------|---|--|----|----|---------|---|
| 妥当性 | 市民ニーズ等から見る妥当性 市民ニーズや時代潮流の変化により、事務事業の役割が薄れていないか | A 薄れていない B 幾分薄れている C 薄れている | A | 2 | 4 | 存在意義の見直しの余地 0 / 4 |
| | 実施主体である妥当性 行政が実施することが妥当か(民間と競合していないか) | A 妥当である B あまり妥当ではない C 妥当ではない | A | 2 | | 市民文化祭は、市民の文化芸術活動の鑑賞機会や発表の場として欠かせない事業であり、市が積極的に支援する必要があります。文化芸術活動団体が継続して活動を維持していくためには、当面補助金の交付も必要であると考えます。 |
| 有効性 | 活動指標から見る有効性 活動指標の実績は、順調に推移しているか | A 順調である B あまり順調ではない C 順調ではない | A | 2 | 5 | 成果向上の余地 1 / 6 |
| | 成果指標から見る有効性 成果指標の目標達成状況は、順調に推移しているか | A 順調である B あまり順調ではない C 順調ではない | A | 2 | | 市民文化祭の参加者、参観者を増やすため、文化センター、現代美術館などとの連携を図る必要がある。 |
| | 事務事業の見直しの余地 成果を向上・安定させるため、事務事業の見直しの余地はあるか | A 見直しの余地はない B 検討の余地あり C 見直すべき | B | 1 | | |
| 効率性 | 事業費の削減の余地 事務手順の見直しや正職員以外での対応により、成果を下げずにコスト削減は可能か | A コストに無駄がない B 検討の余地あり C 可能である 実施済 | A | 2 | 6 | コスト削減の余地 0 / 6 |
| | 他の事務事業との統合・連携 類似又は関連事業との統合・連携により、成果を下げずにコスト削減は可能か | A コストに無駄がない B 検討の余地あり C 可能である 実施済 | A | 2 | | 実行委員会を設置し、協賛企業等の協力を得て運営しており、効率化を図っている。 |
| | 民間委託等 民間委託・指定管理者・PFI等により、成果を下げずにコスト削減は可能か | A コストに無駄がない B 検討の余地あり C 可能である 実施済 | A | 2 | | |
| 公平性 | 受益の偏り 現在の受益は公平か。特定の個人・団体に受益が偏っていないか | A 偏っていない B 多少偏っている C 偏っている | A | 2 | 4 | 受益者負担適正化の余地 0 / 4 |
| | 受益者負担の見直しの余地 現在の受益者負担は適切か。見直しの余地はあるか | A 見直しの余地はない B 検討の余地あり C 見直すべき | A | 2 | | 広く市民に鑑賞機会を提供、発表の場を与えており、受益の偏りはないと考える。 |
| 現在の適性 | | | | | 19 / 20 | 改善の余地 1 / 20 |

【点数化による検証】

当該事業の現在の適性は20点中 **19** 点です。

当該事業の改善の余地は20点中 **1** 点です。

【担当課長による評価】

当該事業の平成24年度の方向性

現状のまま継続

方向性の理由

40年以上継続している事業であり、市と実行委員会が連携し運営している。第2次生涯学習推進計画の中で取り組んでいる「文化芸術鑑賞機会の提供」「文化芸術発表の場の提供」の一環であり、予算の範囲内で現状のまま継続したい。

今後の具体的な取組み方策と狙う効果

市民文化センター、十和田市現代美術館、新渡戸記念館や称徳館との連携も視野に入れて、市民の参加者、観覧者の増を図りたい。